

国際政治

218

グローバル七〇年代

日本国際政治学会編

| | |
|---------------------------------------|----------------|
| 序論 グローバル七〇年代 | 山本 健 |
| 西欧国際関係における安全保障と普遍的価値の交錯 | 伊藤 頌文 |
| 米欧間で揺れるイギリス | 岡本 宜高 |
| 一九七〇年代国際通貨体制再編問題とフランスの選択 | 工藤 芽衣 |
| 2つのニクソン・ショックと「戦後バーゲン」 | 石原 雄介 |
| 二国間交渉と第三国の作用 | 國藤 貴之 |
| 中東地域情勢に基づく日本のエネルギー安全保障政策の変容 | 劉 雅静 |
| ジョンソン、ニクソン政権のインド・パキスタン政策 | 加藤 智裕 |
| 革命の遺産 | 大澤 傑 |
| 「長い七〇年代」の起点における 米国の海洋科学とグローバル・イシュー | 森口（土屋）由香 |
| 管理の不時着 | 韓 アラン 川 瀬 朗 |

<書評論文>

「難民の見る世界、難民を見る世界」 大津留（北川）智恵子

<書評>

富田晃正著

『いまアメリカの通商政策に何が起きているのか？』 石黒 馨

アレクサンダー・ベッツ著

『諸難民の富』 佐藤 滋之

広瀬佳一編著

『現代ヨーロッパの安全保障』 高坂 博史

2026年2月刊